

アトピー性皮膚炎

川口市立医療センター 皮膚科 **高橋 昌五** (たかはし しょうご)



アトピー性皮膚炎は、かゆみを伴う湿疹が、良くなったり悪くなったりを繰り返す病気です。生まれつき皮膚の水分や脂分が少ない人や、アレルギーを生じやすい体質をもった人にダニやハウスダストなどのさまざまな環境因子が加わり発症、悪化します。

症状は主に皮膚の湿疹と乾燥です。湿疹の治療には主にステロイドの外用薬を用います。ステロイド外用薬は湿疹に対してとてもよく効き、アトピー性皮膚炎の赤みやかゆみを治療するために重要な薬ですが、副作用があるため正しい知識をもって使用する必要があります。ステロイド外用薬の副作用には皮膚が薄くなる、細かい血管が広がり赤みを生じる、ニキビなどの皮膚感染症が生じやすくなるといったものがあります。また、ステロイドの外用薬を急に中断すると、離脱症状といって急激に湿疹が悪化する場合があります。これらを理解して慎重に使用すればステロイド外用薬は怖い薬ではありません。

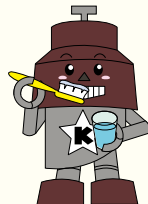
乾燥に対しては保湿剤を使用します。乾燥した皮膚はアレルギー物質が入り込みやすくなりますが、保湿することでそれを防ぎ悪化を予防することができます。ステロイド外用による湿疹の治療と保湿による悪化の予防、両方を行うことがアトピー性皮膚炎の治療には大切です。入浴で肌を清潔に保つ(ナイロンタオルは使わず手で優しく洗う)、部屋の換気や掃除をする、ストレスのため込まないなど日常的なケアも大切です。

あなたの歯の健康 守られていますか？

毎日の生活を豊かに楽しく過ごすためには、いつまでも自分の歯で食事をとることが大切で、80歳で20本以上残すこと[8020(ハチマルニイマル)]が目標とされています。「80歳」という目標年齢が設定されているため、高齢者の歯科保健対策と受け取られやすいですが、若いときからの対策が重要です。

☆歯の喪失を防ぐために

大人の歯の喪失の原因はむし歯と歯周病です。そのうち歯周病は生活習慣病ともいわれ、初期を含めると成人の80%以上がかかっています。日頃の仕事の忙しさにまかせた暴飲暴食や不規則な生活など、日常生活習慣の乱れが歯周病につながるため、毎日のチェックが重要です。また、喫煙は歯周病の危険因子とされているため、禁煙も重要です。



毎日の歯みがきやデンタルフロスなどのセルフケアだけでなく、歯科医院によるプロフェッショナルケアも併せて受け、自分の健康や歯は自分で守よう心掛けましょう。

口腔がん検診が始まります

6月1日～平成31年3月31日(日)に、市内の検診実施歯科医院で受診することができます。対象は30歳以上の市民で、検査費用は800円です。この機会に、成人歯科健康診査(別途、検査費用500円)と一緒に口腔がん検診を受けてみませんか？

イベントスケジュール

3日(祝)～6日(日)
スプリングフェア2018
場 グリーンセンター

5月

5日(祝)
第30回記念みどりの地球号in安行
場 安行スポーツセンター

13日(日) →12ページ
第36回芝のふるさとまつり
場 芝スポーツセンター

13日(日) →13ページ
旧田中家住宅の端午の茶会
場 旧田中家住宅茶室



3日(日) →12ページ
第41回青少年まつり
場 グリーンセンター

6月

3日(日) →8ページ
歯の健康フェスティバル
場 リリア

30日(土)～1日(日)
第4回 日光御成道 川口宿 鳩ヶ谷宿 夏の陣
場 地蔵院、鳩ヶ谷駅、錫杖寺



人を輝かせる服づくりを

洋裁師

なかむら **中村 ヤエ子** さん

服は着る人の個性を表現し、輝かせる。「服は人をつくる」と洋裁の仕事に誇りを持ち、一針一針大切に服をつくり続けている。

19歳の時、「これからは女性も手に職をつけなくては」と考え、洋裁を始めた。東京世田谷の洋裁店から誘われたことがきっかけだった。しかし、縫い方は学べたものの、製図などの基本は教えてもらえず、「将来、自立していくなら基本を身に付けなくてはならない」と危機感を覚えた。洋裁学校に通う経済的余裕はなく、親に通いたいとは言えなかったため、地元山形に帰り、独学で一心不乱に勉強。製図、裁断、補正の仕事を習得するだけでなく、独

自の「直断ち裁断法」を編み出した。

やはり洋裁を続けるには最先端の東京だと思っていたところ、縁があり、結婚と同時に上京。その後開業し、5年目に子どもも産まれたが、子育てと仕事の両立は厳しく、夫が自分が仕事を諦めなくてはならなかった。「お前の仕事には夢がある。2人でやっていこう」と夫は仕事を辞め、洋裁を手伝ってくれた。今では夫しかなかった仕事もある。かけがえのない存在です」と微笑む。以来56年間、苦しい時も夫婦で支えあってきた。

そして、自分の仕事のレベルを知りたいと思い、一級技能士の資格を取得。さまざま

な業種の技能士が競う全日本グランプリ大会にも出場し、優勝した。その後は技術の高さが評判となり、次々と仕事が舞い込んだ。平成14年に厚生労働省より卓越技能者「現代の名工」を受賞し、その2年後には黄綬褒章を受章。伝達式の日、配偶者席に目をやると、自分以上に晴れがましい顔の夫がいた。「夫の笑顔を見た時、洋裁を続けてきて本当に良かったと思えた。」

今でも多くのお客さんに愛され続け、仕事の依頼が絶えない。夫婦の絆が織りなす服は、これからも着る人を輝かせるだろう。(優)

